

運転の代行いても お父さんの かわりは いない

小中学生 書道作品に思い

函 館

STOP 飲酒運転

「飲酒運転撲滅」をテーマに全国の小中学生がメッセージを表現した書道作品展が、函館市役所1階ロビーで開かれている。

FM大阪（大阪）などが取り組む「ストップ！ドリンクドライビング（SDDプロジェクト）」の活動の一環で行われている「SDD全国」でも書道コンクール（SDDプロジェクトなど主催）の入選作品など計80点を展示。「運転の 代行 いても お父さんの かわりは いない」など、小中学生の目線からのメッセージが趣向を凝らした構図で表現されている。

作品展は、函館西署の伊藤雅彦交通課長が「作品を見てもらうことで、飲酒運転防止を心に訴えかけられる」と企画。渡島管内で初めて披露された。

作品を眺めていた市内大川町の主婦阿久津久子さん（71）は「文言も構図も面白い。小学1年生が書いた『ボクでもわかるよ のんだら のらない』が子供らしい言葉で気に入りました」と話していた。22日まで。
（山村麻衣子）



飲酒運転撲滅をテーマにした書道作品に見入る市民